

○金沢市 DX アクションプランの改定について

- ・各事業の進捗表記について、今回新規で追加した施策は 2023 年が空白や「-」になっているが、実際は「検討」をしているような施策もあると思う。
→ご指摘の通り、施策によっては 2023 年にすでに「検討」を行っているものもあるかと思う。
- ・そうであれば、今回新規追加した施策についても 2023 年の進捗を確認し、追記してはどうか。
→そのように対応する。
- ・各事業の進捗表記について、例えば 2024 年「検討」→2025 年「検討」というように、検討しか表記していない施策はどういう意図なのか。
→施策によっては 2, 3 年後のビジョンが定まっていないものがあるため、そういった施策は「検討」としている。
- ・他の施策についても「検討」や「拡大検討」など、様々な表記がある。
「検討」という言葉を並べるのは、進捗が進んでいないようなネガティブな印象を与えかねないのではないか。
- ・進捗表現の種類が多すぎてわかりづらいので、整理した方がよい。
→進捗の表現方法についても、各施策の所管課に内容を確認して修正したい。
- ・今までの会議の議論をベースに丁寧にプランを修正いただいたと感じたし、最上位計画（未来共創計画）にもデジタルが横断的に組み込まれているため、今後の取り組みが楽しみである。
観光データの検討をこれから進めるとのことだが、人流データや宿泊データなどのいろんな分野が連携しないと進まない分野だと思う。横断的に取り組むことでよいデータが集まることを期待している。
- ・今回出たアクションプランの進捗の記載方法を修正する件を反映し、アクションプランの改訂を座長一任とさせていただく。

○金沢市の DX 取り組みについて

- ・能登地震の災害対応について、データを他自治体と共有するような動きはあるのか。
→石川県のほうでデータを一元化する動きがあると聞いている。
- ・金沢市の中でデジタル化が進んでいるという勢いを感じた。こうした取り組みを市

民の方に発信することで、金沢市が変わろうとしている姿勢を見せることができ、市民の士気を高めることや他の自治体の参考になるのではないかと。

- ・現状はどのような発信をしているのか。新聞などのメディアには出しているのか。
→市の情報発信に力を入れて行きたいと考えている。
- ・大学だとプレスリリースという形で地元の新聞社に発信しているが、金沢市はしているのか。
→プレスリリースは行っている。あとは専門的な雑誌等への掲載依頼についても積極的に受けている。
- ・災害対応にデジタルを活用した話をもっと詳しく聞きたい。
→災害物資の受入アプリに関しては3時間でプロトタイプを作成し、実装にこぎつけた。
- ・内製でなければ実現できないスピード感であり、素晴らしい取り組み事例だと思う。デジタル行政推進リーダーという人材とローコードツールという武器があって実現したものだと感じた。
- ・自動運転に関して、金沢港周辺で行うようなアイデアがある。
- ・数年前に、金沢中央市場と金沢港間の鮮魚の輸送を自動運転で行うアイデアをとある民間企業と話したことがある。
- ・金沢市職員によるデジタル化の取り組みは、システムを導入して実現したようなものか、あるいは既存のツール等を活用して実現したものなのか。
→システム導入により実現したものもあるが、多くは職員の業務改善アイデアにより簡単なツール等で実現したものである。いずれも導入時の経費と効果を算出し、効果的な事例を表彰したものである。
- ・従来なら外部ベンダに委託していたものを、デジタル行政推進リーダーを筆頭に職員が内部で実現している点が素晴らしいと感じた。全国に発信すべき事例である。
- ・震災関連で実現したソリューションを他市に展開する予定はあるのか。
→加賀市からもソリューションの提供やデータ連携の話をいただいている。また、石川県からもデータの一元化を打診されているため、他市を含めた展開を考えていきたい。
- ・危機管理のベースとなるインフラは非常に重要だと思うので、今後より強固にしていくことや、他市への展開を期待している。